

五所川原市
文化施設整備計画

2020年3月策定

2025年3月改訂

五所川原市

社会教育課

<目次>

1. 計画の目的	1
2. 本計画の位置付け	1
3. 計画期間	1
4. 対象施設	2
5. 文化施設の現状	2
6. これまでの整備状況	2
7. 今後の整備方針	3
8. フォローアップの実施	4
個別票	5

1. 計画の目的

近年、本市を含む多くの地方公共団体においては、公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっています。また、厳しい財政状況が続く中、今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されています。このことから、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要となっています。

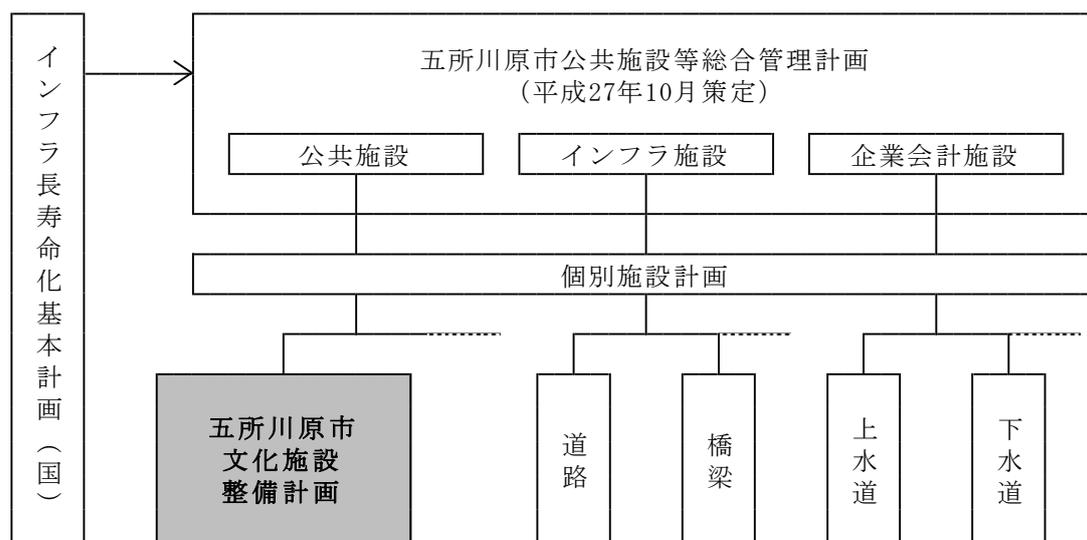
そのような中、国は2013年（平成25年）11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、各地方公共団体においても、このような国の動きと歩調を合わせ、速やかに公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画の策定に取り組むよう要請されたところです。

これらを踏まえ、本市では2015年（平成27年）10月に「五所川原市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」といいます。）を策定し、基本的な方針を示しました。

今回策定しました「五所川原市文化施設整備計画」（以下「本計画」といいます。）は、総合管理計画で示した基本的な方針を具現化するため、個別施設ごとに今後の方向性やスケジュール、方向性に伴う事業費などについて取りまとめたものであり、将来に向けて、保有する公共施設等を有効活用しつつ、施設保有量の適正化や計画的な保全による施設の長寿命化を図る取組の指針とするものです。

2. 本計画の位置付け

本計画は、総合管理計画に基づく実施計画である個別施設計画として位置付けます。



3. 計画期間

総合管理計画の計画期間同様 2044年度（令和26年度）までとし、5年ごとに見直しを行っていきます。

なお、本市を取り巻く社会経済情勢の変化等により、見直しが必要な場合は適宜見直しを行っていきます。

個別施設計画	第Ⅰ期	第Ⅱ期	第Ⅲ期	第Ⅳ期	第Ⅴ期
	策定～2024年度	2025～2029年度	2030～2034年度	2035～2039年度	2040～2044年度
公共施設等総合管理計画	策定～2044年度（30年間）				

4. 対象施設

本計画での対象施設は以下のとおりです。

No.	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	老朽化率 (%)	備考
1	ふるさと交流圏民センター	幾世森	7,031.77	1994	76.6	

※老朽化率は、経過年数を耐用年数で割った値 (2030年3月31時点)

5. 文化施設の現状

ふるさと交流圏民センターは、座席数が1,000席を超える文化施設で、五所川原圏域では唯一の存在となっています。

施設は2019年度(令和元年度)及び2020年度(令和2年度)に大規模改修を実施しており、今後も継続して定期的に必要な改修を実施していくことで、施設の長寿命化を図っていきます。

6. これまでの整備状況

最近の主な整備・改修状況は以下のとおりです。(総事業費が10,000千円以上の主な事業)

事業名	ふるさと交流圏民センター整備事業
事業年度	2013年度(平成25年度)及び2016年度(平成28年度)
事業内容	<p>【2013年度】</p> <p>コンサートホールスピーカードライバユニット取替、舞台吊物機構更新、ふるさと交流ホール客席監視カメラ更新、真空式ボイラー修繕</p> <p>【2016年度】</p> <p>冷温水発生機更新、舞台照明一部LEDに更新</p>
総事業費	137,925千円(財源:地方債136,000千円、一般財源1,925千円)

事業名	ふるさと交流センターの長寿命化を図るための大規模改修事業
事業年度	2019年度(令和1年度)及び2020年度(令和2年度)
事業内容	<p>【2019年度】</p> <p>外壁クラック補修、外壁タイル、冷却水配管の更新、電灯設備(外壁照明)、拡声設備、自動火災報知設備、</p> <p>【2020年度】</p> <p>外部スチール建具更新、外構改修・内装改修、空調設備改修、動力設備改修、監視カメラ設備</p>
総事業費	741,691千円(財源:地方債741,500千円、一般財源191千円)

事業名	ふるさと交流センターの長寿命化を図るための大規模改修事業
事業年度	2022年度(令和4年度)
事業内容	<p>【2022年度】</p> <p>冷温水発生器部品交換、コンサートホール舞台照明設備改修、舞台操作制御部改修工事</p>
総事業費	73,469千円(財源:地方債63,800千円、その他9,669千円)

7. 今後の整備方針

ふるさと交流圏民センターは、1994年度に建設され、2019年度（令和元年度）から2020年度（令和2年度）に外壁のほか、電気・空調・動力設備を、2022年度（令和4年度）には、舞台照明設備と冷温水発生器の改修工事を実施しています。

今後は、舞台音響設備や特定天井の改修工事の実施が必要です。

①施設の基本的な方針

No	施設名称	方向性	管理方法	特記事項
1	ふるさと交流圏民センター	存続	指定管理	

※方向性の説明

方向性	説明
存続	現状のまま維持する。（各種改修・統合・複合化・更新などを行う。）
転用	施設機能を廃止し、他の用途へ転用する。
民間移譲	民間事業者等へ譲渡等を行う。
除却	施設を解体撤去する。（解体時期検討中を含む。）

※管理方法の説明

管理方法	説明
直営	市の直営（個別の業務ごとに私法上の契約で委託する方式を含む。）
指定管理	指定管理者による管理運営方式
包括的民間委託	複数の業務や施設を包括的に委託する方式
PFIなど	公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う方式

②改修等の今後のスケジュール

No	施設名称	第Ⅰ期					第Ⅱ期				
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
1	ふるさと交流圏民センター	改修		改修					改修		

No	施設名称	第Ⅲ期（2030～2034）	第Ⅳ期（2035～2039）	第Ⅴ期（2040～2044）
1	ふるさと交流圏民センター			改修

※改修等の説明

改修等	説明
改修	建物や設備の改修
建替	老朽化等のため建物を建替（非現地建替えを含む。）
解体	施設の解体

③改修等の事業費及び財源

No	施設名称	事業年度	事業費 (千円)	事業費内訳 (千円)	財源 (千円)
1	ふるさと交流圏民センター	2027～2028	597,750	実施設計 (20,000) 監理業務 (19,500) 改修 (558,250)	地方債 (20,000) 地方債 (577,700) 一般財源 (50)
		第Ⅴ期	1,687,625	改修 (1,687,625)	地方債 (1,687,600) 一般財源 (25)

※事業費等は、調査・設計の結果を受けて変動する場合があります。

④今後の施設の総面積とコスト推計

総延床面積 (㎡)				
現在	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
7,031.77	7,031.77	7,031.77	7,031.77	7,031.77
維持管理コスト (千円)				
現在	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
65,115	68,660	72,349	76,242	80,353

8. フォローアップの実施

本計画を着実に推進していくため、PDCAサイクル (Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善)) に基づき、計画の評価・見直しを行いながら実施していきます。

所管課	社会教育課
-----	-------

1. 施設の概要及び目的

施設名称	ふるさと交流圏民センター	総延床面積 (㎡)	7,031.77
所在地	五所川原市字幾世森 24 番地 15	代表建築年 (年)	1994
構成施設	ふるさと交流圏民センター		
施設の目的	芸術文化の振興及び住民福祉の増進を図り、もって五所川原市の発展に資することを目的とする。		

2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
ふるさと交流圏民センター	20	16	10	16	10	72

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
57,803	11,803	23,994	33,644	36,025	45,000	47,250	49,612	52,093

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
67,080	60,726	60,392	73,386	65,115	68,660	72,349	76,242	80,353

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
23	30	22	21	22	22	22	22	22

3. 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	指定管理	特記事項
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>2019 年度～2020 年度及び 2022 年度に、外壁や屋上の補修、電気・空調・動力設備、舞台装置や舞台照明の改修、トイレの洋式化など、大規模改修を実施しており、建物の当面の課題は改善されたものの、施設の規模に対して、利用者が少なく利用率も低い状況にあることが課題となっています。</p>				
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>本施設は芸術文化を振興し住民福祉の増進に資するための施設で、五所川原圏域で唯一 1,000 席を有する文化施設です。</p> <p>引き続き、必要な修繕を行うとともに、計画的な改修により長寿命化を図っていきます。</p>				

【表1】建物性能

評価基準に重みを掛けたものを建物性能とする。

評価基準		重み
①耐震性能	5点：新耐震基準（建築年が1981年（昭和56年）以降） 4点：旧耐震基準であるが耐震性有（Is値0.72以上） 3点：旧耐震基準であるが耐震性有（Is値0.6以上） 2点：旧耐震基準であるが今後耐震改修の計画有り 1点：旧耐震基準（建築年が1981年（昭和56年）前）	×4
②老朽化状況 ※2030年3月31日時点老朽化率により算出	法定耐用年数に対する建築経過年数の割合を以下の区分で評価。 5点：0～25%未満 4点：25～50%未満 3点：50～75%未満 2点：75～100%未満 1点：100%以上	×8
③主体構造	5点：主体構造が鉄骨鉄筋コンクリート、鉄筋コンクリート、プレキャストコンクリート等 4点：主体構造が鉄骨造、軽量鉄骨造など 3点：主体構造が木造、コンクリートブロックなど	×2
④大規模改修状況	5点：建築後20年以内の建物（大規模改修が不要） 4点：建物本体の改修を実施 3点：設備の改修を実施 2点：未実施だが、改修計画有り 1点：未実施	×4
⑤福祉性能	エレベーター、多目的トイレ、車いす用スロープ、自動ドア、手すり、点字ブロックの6項目のうち、対応している項目数に応じて評価。 5点：4項目以上対応済 4点：3項目対応済 3点：2項目対応済 2点：1項目対応済 1点：未対応	×2